


KEIRIN



広報 **KEIRIN**

競輪第46号
(毎月1回発行)

発行
財団法人JKA
競輪広報グループ
東京都千代田区
六番町4番地6
電話 03(3239)9420



「東日本大震災被災地支援 KEIRINグランプリ2011」で優勝した山口幸二選手

目	次
今月のトピックス	競輪選手の特別昇班..... 10
山口幸二が優勝「東日本大震災被災地支援 KEIRIN グランプリ 2011」	競輪選手の出場あっせん停止..... 10
渡邊一成が優勝「東日本大震災被災地支援 ナショナルチームカップ」	先頭誘導選手の認定・認定更新・認定抹消 10
柴田竜史が優勝「東日本大震災被災地支援 ヤンググランプリ 2011」	先頭誘導選手の認定取消 12
「東日本大震災被災地支援第100回生ルーキーチャンピオンレース(若鷺賞)」出場予定選手決まる	競輪自転車の仕様の追加 13
2月の競輪開催日程..... 2	競輪自転車の登録証記載事項の変更 13
年頭所感 経済産業大臣 枝野幸男 3	競輪自転車のヘッドマークの変更 13
新年のご挨拶 財団法人JKA 会長 石黒克巳 6	競輪自転車の登録更新 13
競輪選手の登録事項の変更..... 7	平成24年1月競輪出場あっせん状況 14
競輪選手の登録消除..... 7	平成24年1月開催出場あっせん概況表 14
競輪選手の特別昇級..... 10	平成24年1月開催競輪選手需給状況表 14
	平成24年2月競輪出場あっせん計画 15
	平成24年2月開催競輪選手需給計画表 15
	登録・認定数等..... 15
	車券売上状況(12月分) 16

今日のトピックス

山口幸二が優勝

「東日本大震災被災地支援 KEIRIN グランプリ 2011」

「東日本大震災被災地支援 KEIRIN グランプリ 2011 (GP)」は 12 月 30 日、平塚競輪場で行われ、山口幸二(岐阜)が優勝した。山口は優勝賞金 1 億円(副賞含む)を獲得、年間獲得賞金を 1 億 9765 万 3511 円とし、初の賞金王になった。山口のグランプリ優勝は 98 年以来 13 年ぶり 2 度目。43 歳でのグランプリ優勝は有坂直樹の 37 歳を抜いて史上最年長記録を更新した。2 着には武田豊樹(茨城)、3 着には浅井康太(三重)が入った。

渡邊一成が優勝

「東日本大震災被災地支援 ナショナルチームカップ」

「東日本大震災被災地支援 ナショナルチームカップ (F II)」は 12 月 29 日、平塚競輪場で行われ、渡邊一成(福島)が優勝し、賞金 400 万円(副賞含む)を獲得した。2 着には河端朋之(岡山)、3 着には新田祐大(福島)が入った。

柴田竜史が優勝

「東日本大震災被災地支援 ヤンググランプリ 2011」

「東日本大震災被災地支援 ヤンググランプリ 2011 (G II)」は 12 月 28 日、平塚競輪場で行われ、柴田竜史(静岡)が優勝し、賞金 390 万円(副賞含む)を獲得した。2 着には相川永伍(埼玉)、3 着には坂口晃輔(三重)が入った。

「東日本大震災被災地支援 第 100 回生ルーキーチャンピオンレース(若鷲賞)」出場予定選手決まる

日本競輪学校第 100 回卒業の選手から、平成 23 年 7 月から 12 月までの期間における平均競走得点上位者から選ばれる「東日本大震災被災地支援 ルーキーチャンピオンレース(若鷲賞)」(3 月 18 日 玉野競輪場)の出場予定選手が以下の通り決まった。

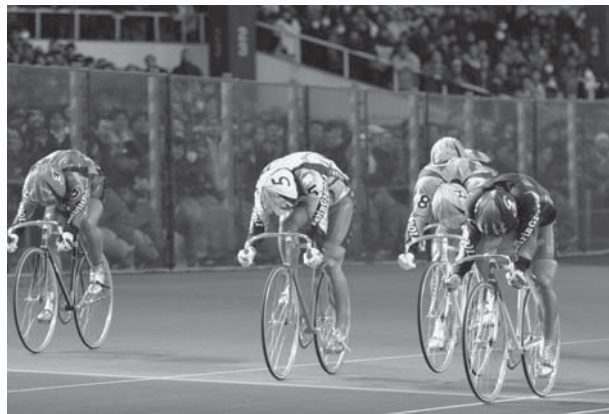
伊藤裕貴(20=三重)、窓場千加頼(20=京都)、三登誉哲(25=広島)、中井勇介(30=千葉)、中山敬太郎(22=熊本)、佐々木吉徳(24=秋田)、井上将志(27=兵庫)、古性優作(21=大阪)、福田拓也(20=栃木)

KEIRIN グランプリ 2011 成績

= 12 月 30 日 11R・先頭固定競走 2825m =

Table with 7 columns: 着順, 枠番, 車番, 選手名, 年令, 登録, 上がり着差. It lists the results of the 2011 KEIRIN Grand Prix, with 山口幸二 as the winner.

▽決め手=差し
▽2 枠複②-④ 3,000 円⑫
▽2 車単②-⑤ 17,770 円⑤⑨
▽3 連単②⑤⑦ 62,150 円②④



(写真提供 共同通信社)

2 月の競輪開催日程

A large table listing the race schedule for February, organized by region (函館, 青森, etc.) and listing specific dates and events.

(注) 1. 太字は F I 以上の開催をあらわす。(【 】は F I を表す)
2. 太字のナはナイター競輪をあらわす。
3. 前橋・小倉の M はミッドナイト競輪をあらわす。
◆ 開催につきましては、変更することがありますので予めご承知おきください。

謹 賀 新 年

年 頭 所 感

平成 24 年 元旦



経済産業大臣 枝野 幸男

1. 「攻め」の一年に向けて

新しい年を皆様と迎えられることを嬉しく思います。本年が、皆様にとって実り多い年となるよう祈念申し上げます。

昨年は東日本大震災、秋の数度の台風、そしてタイの大洪水など、自然災害の恐さを思い知る一年となりました。さらに、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、福島県を始め広い地域に被害が及び、大変な御苦勞をおかけしました。また、震災直後に計画停電を実施するなど、電力の需給も厳しい状態が続きました。私自身、内閣官房長官として、また、経済産業大臣としてこれらの事態に対処し、原子力発電所の安全確保の大切さ、エネルギーの安定的な供給の重要性を痛感いたしました。

こうした中、世界経済は不確実さを増し、欧州の経済危機と米国経済の低迷を前に、急激な円高が続いています。ドーハ開発ラウンドが停滞する一方で、二国間や地域内の経済連携や自由貿易協定が拡大しています。さらに国内では、少子化・高齢化の影響がいよいよ顕在化しており、現状を放置したままでは社会保障の安定的な提供や財政の健全化が滞って活気ある社会を営むことが早晚困難になります。震災前から抱えていたこれらの課題の解決に向け、今年は「守り」ではなく「攻め」の姿勢で臨む一年にしたいと考えています。

2. 原発事故への対応と大震災からの復興

そのためには、まず、目の前の問題の確実な解決が不可欠です。昨年 12 月、東京電力福島第一原子力発電所の全ての原子炉が冷温停止状態となり、いわゆるステップ 2 は完了

しました。しかしながら、原発事故で避難を余儀なくされた方々に豊かで活気ある暮らしを取り戻していただくまで、この戦いは終わりません。発電所内では、「中長期ロードマップ」に沿って廃炉に向けた作業が始まります。長い道のりですが、一日でも早く達成できるよう、安全・安心を第一に取り組みます。これと併行して、生活や事業の再建、健康管理、モニタリング、除染などを実施し、避難区域の段階的な解除を目指します。また、原子力損害賠償支援機構も活用し、損害を被った方々に東京電力から速やかに賠償がなされるよう努めてまいります。原子力被災者の方々の御苦勞と御心痛を常に胸に刻みながら、こうした取組を進めてまいります。

事故の反省に立ち、全国の原子力発電所の安全確保を強化することも喫緊の課題です。原子力安全規制の強化に道筋をつけ、本年 4 月に設立が予定される原子力安全庁（仮称）にしっかり引き継いでいきます。ストレスについては、原子力安全委員会や IAEA と協力して適切に実施します。点検済の原子力発電所の再起動は、地元の御理解が得られることが前提であるとの方針に変わりはありません。一方、この冬、そして今夏の電力需給が厳しくなると予想されます。計画停電を回避するため、供給力の最大限の積み上げを行うとともに、特に民生用・業務用を中心に省エネルギー・節電対策の強化を呼びかけてまいります。皆様の御協力をお願いいたします。

大震災からの復興に向けては、事業者の皆様が被災事業の再建に希望を持って取り組んでいただけるよう、資金繰り支援や二重債務

問題の解消を重点的に実施します。必要な資金は累次の補正予算により確保されました。各地の地方公共団体や金融機関と連携し、個々の事業者の方々に丁寧に支援を届けていきます。また、地域の絆を支えにした事業再建を応援するため、引き続き、中小企業等へのグループ補助金等によって施設・設備の復旧・整備を支援します。被災地で新しい事業を産み出すことは雇用創出のためにも重要であり、東北地方、特に福島県を中心に医療分野や再生可能エネルギー分野の研究開発拠点を整備し、既に形成されている産業集積の拡大を図ります。

3. エネルギー政策のゼロベースの見直し

大震災からの復興を進めつつ、我が国が中長期的に抱える課題の解消に向け、「攻め」の経済産業政策を展開していきます。その第一の柱がエネルギー政策のゼロベースの見直しです。昨年、様々な立場の方の参画を仰いで総合資源エネルギー調査会基本問題委員会を新設し、年末に論点を整理しました。これを出発点に、エネルギー・環境会議と連携しながら国民的な議論を深め、今夏までに新たな「エネルギー基本計画」を策定します。特に、電力システム改革については、既に検討を進めている電気料金制度の見直しに加え、震災の教訓も踏まえた「開かれた電力市場」の構築に向けた検討を集中的に行います。

電力需給を早期に改善させるためには、エネルギー利用の合理化が有力な手段となります。省エネという我慢する発想になりがちですが、私は、無理をせず同じエネルギーでより多くの付加価値を生み出す、つまり、エネルギー生産性の向上というプラス思考で取り組むことが重要だと考えます。蓄電池や自家発電、エネルギーマネジメントシステムなどの技術を活用したピークカット（使用最大時の電力需要の抑制）や、住宅・建築物の省エネ性能の底上げを進めるため、新たな制度の導入を図ります。今年、再生可能エネルギーの固定価格買取制度がいよいよ始まります。地熱発電の普及に向けた補助を大幅に拡大するなど、支援策を総動員して新エネルギー

の利用拡大を促進します。

天然資源の多くを輸入に頼る我が国にとって、その安定的な確保は極めて重要です。昨年末にまとめた「資源・燃料の安定供給確保のための先行実施対策」に沿って、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）による資源開発時のリスクマネー供給機能の強化や、災害時等の石油製品の安定供給に取り組みます。地球温暖化対策は、国際交渉に積極的に取り組むとともに、エネルギー政策の検討と表裏一体で進めてまいります。

4. 活力ある経済の再生

「攻め」の政策の第二の柱が、活力ある経済の再生です。急激な円高や、これに伴う産業空洞化の懸念を克服するため、23年度第3次補正予算に5000億円規模の国内立地補助を盛り込みました。サプライチェーンの中核を占めながら代替が効かない部品・素材分野の海外流出を食い止めるため、予算の執行を急ぎます。また、国内自動車市場の活力維持のため、第4次補正予算で3000億円のエコカー補助金を創設しました。年度末に向け、中小企業の資金繰り対策にも万全を期します。

(1) 潜在的な内需の掘り起こし

しかし、こうした「守り」の対策だけでは不十分です。現状の日本経済は、縮小均衡・じり貧が継続する、いわば「やせ我慢の経済」になってしまっているのではないのでしょうか。この状況を脱し、新たな付加価値を創造し拡大する経済に転換することが必要と考えます。鍵となるのが「潜在的な内需の掘り起こし」です。少子化・高齢化やエネルギー環境問題による制約の存在は、観点を変えれば、これらを解消するための新事業のニーズがあるということです。経済産業省の試算では、こうした課題解決型産業で15兆円の消費拡大が見込まれます。潜在的な需要に応じた事業創造を制約なく促し、新たな雇用の創出につなげるため、経済産業省では新しい法律の提案

を含め、支援策を増やしていく予定です。

活発な事業活動を支える環境整備にも努めます。法人実効税率については、復興財源としての期限付き付加税が課されるものの、引き下げが実現いたしました。車体課税や原料用途免税については、平成24年度税制改正大綱で、国際水準に一步近づけるための措置を盛り込むことができました。これをしっかりと実現してまいります。我が国の競争力の源であるイノベーションの強化も手を緩めることなく進めます。平成24年度予算には、十年後、二十年後に向けた未来開拓型の研究開発を盛り込みました。これと併せ、研究開発税制による民間研究開発支援、国際標準の迅速な獲得や国際的な知財インフラの整備も継続します。

(2) グローバル需要の取り込み

活力ある経済を築くためには、成長著しい新興国を始めとする世界中の需要を取り込み、海外の富を国内に循環させることも重要です。日本が規格製品の大量生産で他国と価格を競える時代は終わりました。日本にしかできない、日本で創るからこそ魅力がある製品やサービスで海外市場を開拓していかねばなりません。その意味で、「クールジャパン」の推進をより多くの分野で展開したいと考えています。また、日本が強みを持つインフラ・システムや環境技術・製品の海外展開を促進します。

こうした輸出強化の土台として、主要貿易国・投資相手国との高いレベルの経済連携が重要となります。日韓・日豪EPA交渉を推進するとともに、日中韓FTAや、HEU・EPA、ASEAN+3、ASEAN+6などの経済連携を戦略的かつ多角的に推進し、環太平洋パートナーシップ(TPP)協定については、昨年11月に決定した方針に沿って、交渉参加に向けて関係国との協議を進めていきます。貿易や投資の自由化による影響を懸念する意見もある中、経済産業省としては、それぞれの経済連携につき、担当する個々の交渉分野の効果を具体的に説明し、仮に懸念される影響

があるならば、それをどのように緩和できるか提案していきたいと思えます。

あわせて、資金の環流を妨げる制度の改善・撤廃も進めていきます。さらに、世界のグローバル企業のアジア本社や研究開発拠点の国内誘致を支援すべく、「特定多国籍企業による研究開発事業等の促進に関する特別措置法案」の早期成立を目指します。

(3) 中小企業の支援

日本経済の活力を担う主役は何と言っても中小企業です。昨年末、中小企業政策審議会は、中小企業が持つ潜在力・底力を最大限引き出すための具体的施策を示しました。その中で、地域の金融機関や税理士の方々に、中小企業の経営支援の担い手としてこれまで以上に活躍していただくことを期待しています。このための法的措置を講じるつもりです。また、中小企業が培ってきたものづくり技術や日本独自の知恵・技・感性をいかした製品の海外展開も支援していきます。時代の転換点にある中、次の時代を担う新産業・新事業の芽は、中小企業にこそ存在します。その芽を見いだし、育てることを、「攻め」の経済を作る上での最大の課題と位置づけ、全力で取り組みます。

5. 結びに

今年以上は以上の柱に沿って、「攻め」の姿勢で経済産業政策を運営し、国民の皆様の暮らしが生き生きとしたものとなり、少しでも将来に向けて「明かり」が差すよう、職員一丸となって努力していきます。一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

年頭所感

平成24年 元旦



財団法人 JKA
会長 石黒 克巳

年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年の東日本大震災により被災された皆様には、衷心よりお見舞い申し上げますとともに、新しい年が復興に向かう1年となりますように祈念いたします。

競輪界においても復興・復旧のお役に立てるよう、昨年4月より全国の競輪場で東日本大震災被災地支援競輪と位置付けて開催してまいりました。

本財団としても、競輪・オートレースの売上を財源とした復興支援策として、震災復興支援補助の第一次募集を昨年5月から、第二次募集を11月から行い、できるだけ多くの復興支援活動に役立てていただきたいと思います。

競輪事業については、売上減が続く厳しい状況となっておりますが、今後の競輪をより良い方向に改革していくために、「競輪最高会議」を新たに設置いたしました。同会議で競輪の活性化策や今後の競輪運営のあり方などを議論して、意思決定をしていきます。

本年7月よりGIRLS' KEIRINが開始されます。現在、日本競輪学校で女子第1回生徒が日々鍛錬しておりますが、マスコミからの取材依頼

も多く、非常に注目されております。女子選手の活躍により新たな若いファンの開拓が多いに期待されます。

また、昨年、実施直前に東日本大震災によって中止となった「日韓対抗戦競輪」を本年3月に開催することが決まり、競輪開催国である日本と韓国の両国トップ選手による国の威信をかけたレースをご覧いただけることになりました。

競輪開催体系については、お客様にとって予想しやすいように、本年1月開催からFⅡ開催を11レース制として、A級チャレンジレース(5レース)については、7車立てとして、競走距離を1600mに短縮し、賭式を5賭式に集約するなどの変更をいたしました。

また、厳しい白熱した競走を期待するお客様のご要望にこたえるべく、特別競輪を10開催に集約し、競輪最高峰のS級S班については18名から9名の“狭き門”といたしました。

私どもJKAは競輪の活性化を図り、お客様に楽しんでいただけるよう、関係者一丸となり、引き続き努力してまいります。競輪への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

選手

登録事項の変更

(23JKA 指導第 1 号の 38 平成 23 年 12 月 22 日)

氏名変更 (1 名) 適用日 平成 23 年 12 月 21 日

登録番号	新氏名	旧氏名
12555	齊藤 努	横田 努

県内移動 (10 名) 適用日 平成 23 年 12 月 21 日

登録番号	氏名	登録番号	氏名
11427	川口 秀人	12569	伊奈 一英
13110	法月 成祐	13940	宮内 貴司
14042	徳吉 正治	14222	木暮 安由
14397	成田 恭一	14456	亀井 久幸
14653	飯山 泰行	14670	吉岡 貴紀

住居表示変更 (3 名) 適用日 平成 23 年 12 月 21 日

登録番号	氏名	登録番号	氏名
11483	川原 義彦	12830	波能 淳
13868	岡崎 景介		

同

(23JKA 指導第 1 号の 40 平成 24 年 1 月 13 日)

県内移動 (6 名) 適用日 平成 24 年 1 月 11 日

登録番号	氏名	登録番号	氏名
11440	藤井 克衛	12569	伊奈 一英
13502	鏡 哲也	13886	大屋 健司
14413	松本 充生	14545	岡崎 智哉

同

(23JKA 指導第 1 号の 41 平成 24 年 1 月 20 日)

県内移動 (1 名) 適用日 平成 24 年 1 月 18 日

登録番号	氏名
13198	村治 久敏

登録削除

(23JKA 指導第 1 号の 38 平成 23 年 12 月 22 日)

(1 名) 登録削除日 平成 23 年 12 月 15 日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
茨城	12491	13595	A3	並木 亨

(注) 適用条項は登録規則第 20 条 1 号

(1 名) 登録削除日 平成 23 年 12 月 16 日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
熊本	12853	18407	A1	上野 崇雄

(注) 適用条項は登録規則第 20 条 1 号

(6 名) 登録削除日 平成 23 年 12 月 20 日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
京都	8388		A3	梶井 道弘
秋田	9868	10342	A1	須藤 修
神奈川	10086	18733	A2	千葉 幸彦
熊本	11757	18497	A3	森下 裕之
兵庫	12228		A2	尚吉 信之
熊本	14198	19236	A3	磯野 高臣

(注) 適用条項は登録規則第 20 条 1 号

同

(23JKA 指導第 1 号の 39 平成 24 年 1 月 6 日)

(5 名) 登録削除日 平成 23 年 12 月 22 日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
熊本	8827	19229	A3	服部 良一
愛知	10437	14274	A2	田中 新悟
静岡	10878	17421	A2	柿島 英之
愛知	10888	17382	A1	小田 龍二
茨城	10969	19013	A1	上方 啓次

(注) 適用条項は登録規則第 20 条 1 号

(7 名) 登録削除日 平成 23 年 12 月 26 日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
宮城	8765	18057	A3	関根 好雄
佐賀	9601	10131	A3	大淵 一弘
東京	10080	16169	A3	古林 昭二
岐阜	10109	14433	A1	長瀬 正弘
熊本	10703	16457	A1	西 隆宏
東京	10738		A2	吉沢 隆男
熊本	11079	18881	A2	宮本 博文

(注) 適用条項は登録規則第 20 条 1 号

同

(23JKA 指導第1号の40 平成24年1月13日)

(53名) 登録消除日 平成24年1月5日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
千葉	8709	14990	A2	利根川 勇
高知	9046	15499	A2	松村 信定
神奈川	9283	9196	A3	小松 政則
岡山	9693	9577	A2	片岡 克巳
福島	9732		A3	岩崎 淳一
群馬	9753	10489	A3	飯野 謙一
東京	9758		A3	小笠原 勲
山口	9901	9956	A3	松並 利一
静岡	9977	14698	A3	浅井陽二郎
兵庫	10005		A3	前田 秀利
東京	10182		A3	長井 賢人
岡山	10215	10214	A3	桐野 和彦
岡山	10218	16467	A1	松枝 義幸
群馬	10275	15236	A3	新谷 隆広
埼玉	10280	10625	A3	荻原 善一
兵庫	10341		A2	溝口 欣也
徳島	10356	12548	A3	堀江弥三郎
栃木	10387		A3	渡邊 伸二
神奈川	10418	13913	A3	小門 洋一
京都	10446	10474	A3	川島 和則
福岡	10471	17303	A3	今村 保徳
宮城	10592		S2	相原 健樹
岐阜	10901	11371	A3	安田 佳隆
奈良	10907	11206	A3	中井 義実
和歌山	10908	11048	A2	安田 勝利
静岡	11018	11475	A2	柴田 浩
静岡	11025		A2	渡邊 浩信
徳島	11059		A3	中野 圭司
千葉	11129		A3	石井 敬一
岡山	11297	11724	A3	井上 直哉
岡山	11298	17654	A2	加藤 章司
大阪	11331	12620	A3	藤原 雄彦
岐阜	11386	11962	A3	馬場 徹

熊本	11448		A3	中川 博
福島	11460	19069	A3	鈴木 春雄
千葉	11604	14642	A3	篠原 輝行
広島	11727	12321	A3	小尻 敏幸
広島	11729	16788	A3	新田 義男
福島	11776		A3	矢内 輝雄
兵庫	11930		A3	西山 政幸
香川	11943	13150	A3	眞砂 英樹
徳島	11945	18275	A3	橋本 太
静岡	12007	14723	A2	木村 和臣
大阪	12119	14457	A3	松原 広和
群馬	12173		A3	品田 和博
千葉	12189	14648	A3	佐久間浩二
茨城	12411		A3	市川 勝敏
埼玉	12504		A3	川端賢太郎
山口	13292	16363	A1	西本 龍
茨城	13312		A2	渡邊 義博
群馬	13316		A3	茂原 朝納
静岡	13476	18212	A3	山梨 英昭
福島	14649		A3	相良 祐太

(注) 適用条項は登録規則第20条1号

(15名) 登録消除日 平成24年1月6日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
愛知	9554	13012	A2	大竹 広治
兵庫	9893		A3	橋本 彰文
奈良	9999	17691	A3	鈴木 勝
愛知	10106		A3	細川 忠行
香川	10130	10259	A3	藤澤 浩二
愛知	10197	17629	A3	鵜飼 弘明
千葉	10295	14798	A3	梅原 宏
兵庫	10453		A2	岡本 克也
高知	11208	11675	A3	濱口 功
兵庫	11411		A2	冨野 勝隆
愛知	11694	12379	A3	鈴木 孝始
兵庫	11931		A3	松原 猛

北海道	12334	13475	A3	林 圭一
鹿児島	12405		A3	立神 洋一
兵庫	12903		A3	須賀 聖輔

(注) 適用条項は登録規則第20条1号

(10名) 登録消除日 平成24年1月10日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
群馬	9748		A3	横田 弘由
東京	10072		A3	大森 玉木
愛知	10100	17628	A2	内村 文彦
熊本	10478	18359	A2	藤岡 一也
静岡	10527		A3	守岡 央樹
愛知	11693		A1	河津 照彦
埼玉	11782		A3	飯島 規之
静岡	12825		A2	鈴木 克巳
石川	13200	17451	A1	山本 貴士
三重	13954	17449	A1	常川 佳介

(注) 適用条項は登録規則第20条1号

同

(23JKA 指導第1号の41 平成24年1月20日)

(18名) 登録消除日 平成24年1月12日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
茨城	8977		A3	柴田 純
茨城	9076		A3	内田 幸男
東京	9388	18769	A3	須田 和夫
滋賀	9564	9811	A3	加奈川英三
東京	9862	12428	A3	飯田 義広
群馬	10060		A3	飯野 幸弘
群馬	10394	11523	A3	山田 哲志
兵庫	10673		A3	村上 英夫
兵庫	10788		A2	平田 雅章
群馬	10981	13224	A3	清水 晴好
岡山	11721	12868	A1	十河 哲治
沖縄	11992		A3	大城 尚乃
愛知	12110	16625	A2	和田 治恭
奈良	12221	14062	A3	高本 貴弘

愛媛	12545	19097	A3	南 正一
岡山	12609	19096	A1	橘 勇
北海道	12931	14778	A3	竹村 政明
鹿児島	13376		A3	中野 和久

(注) 適用条項は登録規則第20条1号

(4名) 登録消除日 平成24年1月13日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
大阪	10782	11105	A3	青木 啓晃
大阪	11922	17323	A3	下間 覚
兵庫	12902		A3	島野 敦識
埼玉	13317	16128	A3	津久井 隆

(注) 適用条項は登録規則第20条1号

(1名) 登録消除日 平成24年1月16日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
奈良	12901	15161	A3	平田 義敬

(注) 適用条項は登録規則第20条1号

(2名) 登録消除日 平成24年1月17日

府 県	登録番号	先頭誘導選手 認定番号	級班	氏 名
大阪	11397	12731	A2	宇土 孝之
秋田	12859	14780	A3	三浦 修

(注) 適用条項は登録規則第20条1号

特別昇級

(23JKA 指導第 1 号の 39 平成 24 年 1 月 6 日)

(3 名)

14194 桑原 亮 (福岡) 91 期 27 才			
新級班	昇級適用日	適用期	事由
S2	H23.12.24	23 年後期 24 年後期	レインボーカップ A 級ファイナル 1 着
14057 松田 優一 (茨城) 90 期 26 才			
新級班	昇級適用日	適用期	事由
S2	H23.12.24	23 年後期 24 年後期	レインボーカップ A 級ファイナル 2 着
14362 岩崎 大和 (茨城) 94 期 27 才			
新級班	昇級適用日	適用期	事由
S2	H23.12.24	23 年後期 24 年後期	レインボーカップ A 級ファイナル 3 着

特別昇班

(23JKA 指導第 1 号の 39 平成 24 年 1 月 6 日)

(3 名)

14775 小原 周祐 (高知) 99 期 20 才			
新級班	昇班適用日	適用期	事由
A2	H23.12.25	23 年後期 24 年後期	レインボーカップチャレンジファイナル 1 着
14820 中井 勇介 (千葉) 100 期 30 才			
新級班	昇班適用日	適用期	事由
A2	H23.12.25	23 年後期 24 年後期	レインボーカップチャレンジファイナル 2 着
14844 三登 誉哲 (広島) 100 期 24 才			
新級班	昇班適用日	適用期	事由
A2	H23.12.25	23 年後期 24 年後期	レインボーカップチャレンジファイナル 3 着

出場あっせん停止

「競輪に係る業務の方法に関する規程」に基づき、下記のとおり決定しました。

(23JKA 指導第 133 号 平成 23 年 12 月 22 日)

(1 名)

級班	府県	番号	氏名	あっせん停止期間	適 条
S2	熊本	13074	島田 竜二	あっせん停止 2 ヶ月 平成 24 年 1 月 1 日~ 平成 24 年 2 月 29 日	業務規程 第 135 条 第 1 項 第 11 号

先頭誘導選手の認定・認定更新・認定抹消

(23JKA 指導第 1 号の 38 平成 23 年 12 月 22 日)

認定 (17 名)

認定年月日

平成 23 年 12 月 1 日

府県	認定番号	登録番号	氏 名
宮城	19259	13084	畑山 啓太
〃	19260	13989	大泉 英則
福島	19261	13912	金成 和幸
栃木	19262	12566	高根澤幸房
〃	19263	12719	篠崎 高志
埼玉	19264	14449	片折 勇輝
東京	19265	11880	佐久間仙行
〃	19266	13625	佐藤 英史
〃	19267	14452	長井 優斗
山梨	19268	14516	村松 俊弥
愛知	19269	14167	佐野 雄希
岐阜	19270	10899	鈴木 達也
広島	19271	14680	増原 正人
〃	19272	14681	松浦 悠士
徳島	19273	14683	藤岡 隆治
〃	19274	14684	松本 卓也
大分	19275	13744	菅原 晃

認定更新 (41 名)

認定年月日

平成 23 年 12 月 1 日

府県	認定番号	登録番号	氏 名
秋田	15812	12935	村上 輝久
群馬	18817	11983	菅原 信昭
埼玉	15181	12954	井上 善裕
〃	17897	13319	山本 光泰
〃	16405	13551	女屋 文伸
〃	16406	13553	小島 雅章
〃	16407	13555	台 和紀
東京	16411	12353	高田 敏広
〃	15182	12808	村越 賢治
〃	18818	13180	曾我 憲司
〃	17898	13245	佐藤 真一
新潟	13936	12650	笹川 竜治
愛知	15186	11809	樋渡三千男
〃	17899	13041	三浦 稔希
〃	17235	13638	村上 卓茂
〃	17900	13862	鈴木 伸之
岐阜	15822	11911	平田 仁
三重	16416	13197	鈴木 幸紀
岡山	10780	10678	本田 晴美

岡山	15190	11640	武上 章治
〃	15195	13213	竹内 洋
広島	12196	11532	工 義則
〃	15824	11836	景山 秀之
〃	15825	13350	西 毅
〃	15826	13434	石黒 健
〃	15829	13437	広瀬 興
〃	15830	13438	前反祐一郎
香川	10259	10130	藤澤 浩二
〃	16419	12138	松岡 伸定
〃	14493	12842	安川 勤
〃	17239	13060	児玉慎一郎
徳島	11455	11057	池内 一洋
〃	15198	11427	川口 秀人
高知	18391	13063	赤松 秀展
愛媛	13425	12241	松木 竜也
福岡	12824	11927	古場 茂
佐賀	15201	11320	俵 洋一
〃	12827	12051	金子 英雄
長崎	13947	12703	宮原 英司
大分	18821	11198	大竹 慎吾
〃	18823	14117	小岩 大介

認定抹消 (19 名) 認定年月日 平成 23 年 12 月 1 日

府県	認定番号	登録番号	氏名
青森	13932	11456	大下 浩美
茨城	16398	12561	富岡 武志
〃	17229	12635	廣瀬 裕道
〃	18813	12791	大井 崇
〃	18814	13013	武田 靖夫
〃	18815	13312	渡邊 義博
栃木	18388	12265	福田 篤司
〃	18389	13540	金留 和明
〃	18816	14289	羽石 国臣
愛知	15184	11693	河津 照彦
石川	18819	11392	道上 明
滋賀	10769	8938	井狩 吉雄
〃	18820	12899	中井 護
大阪	15187	12834	松田 治之
〃	17236	13876	山本 貴喜
岡山	10781	10679	宮元 隆浩
広島	15827	13435	中石 昌芳
大分	18822	13150	森本 大志

沖縄	16425	12399	岡田 雅之
----	-------	-------	-------

同

(23JKA 指導第 1 号の 39 平成 24 年 1 月 6 日)

認定 (20 名) 認定年月日 平成 24 年 1 月 1 日

府県	認定番号	登録番号	氏名
福島	19276	11138	普津澤利幸
〃	19277	13675	鈴木 友仁
〃	19278	14215	木田 有隆
〃	19279	14357	佐藤 康恭
〃	19280	14573	小野寺悠太
栃木	19281	13395	大野 統通
静岡	19282	13037	町田 勝志
岐阜	19283	14597	上田 隼
〃	19284	14598	岡崎 祥伍
〃	19285	14600	山田 祥明
石川	19286	11392	道上 明
広島	19287	13216	古城 英之
山口	19288	14704	阿部 充宏
〃	19289	14705	沢田 勇治
福岡	19290	13368	牧 剛央
〃	19291	13808	坂本健太郎
〃	19292	14779	名川 豊
大分	19293	14783	魚屋 周成
〃	19294	14784	萱島 大介
熊本	19295	11755	柴川 高行

認定更新 (57 名) 認定年月日 平成 24 年 1 月 1 日

府県	認定番号	登録番号	氏名
栃木	15841	10973	北沢 勝弘
〃	18393	14059	高塩 讓次
群馬	10793	10062	矢島 信弥
〃	18826	14006	青木 亮太
〃	18827	14062	齋藤 昌弘
東京	16442	10674	泉 和男
〃	17253	11678	茨木 基成
〃	17254	12577	鈴木 淳也
静岡	18833	10196	森 義弘
〃	15211	10880	長島 実
〃	11474	11013	伊藤 勝也
〃	11475	11018	柴田 浩
〃	11476	11019	高橋 洋之
〃	12837	11262	金川 光浩

静岡	17906	12736	松江 健一
〃	17259	12738	渡邊 一洋
〃	17260	13035	瀧口 貴嗣
〃	15863	13036	深澤 伸介
〃	15865	13115	望月 永悟
〃	16434	13326	齋藤 光洋
〃	16435	13423	増田 利明
〃	18396	14023	河村 文人
〃	18397	14087	高橋 隆太
愛知	17262	11907	島野 浩司
岐阜	10814	10542	野村 達
〃	13962	12596	志智 俊夫
〃	13963	12597	塚本 貴雄
〃	15870	13196	竹田 和幸
〃	18836	14307	谷田 泰平
〃	18837	14308	廣島 和彦
三重	10276	10203	平田 雅己
〃	18838	11623	鈴木 邦明
〃	12843	11913	藤本 辰次
富山	18839	14473	重倉 高史
石川	13965	12679	坂上 忠克
〃	13967	12681	辻 力
〃	18840	14474	山崎 晃
奈良	15223	12224	山本 淳
和歌山	16441	12746	南部健次郎
大阪	15872	12979	秋山 智幸
岡山	12845	10008	峰重 龍一
〃	16443	11171	齊藤 利治
〃	16445	11934	串田 晴男
〃	18841	12037	藤原 勇
〃	17909	12611	藤原 富雄
〃	17264	12907	小畑 大臣
〃	16446	13291	三宅 達也
〃	17910	13646	日浅 保幸
広島	16452	13648	佐々木辰彦
〃	16454	13650	吉本 哲郎
山口	11488	11181	鈴木 啓一
〃	13436	12470	松本 篤浩
愛媛	10825	10690	本山 実
〃	17265	12313	北田 昭志
福岡	15227	13224	西村 将己
〃	17266	13807	尾籠 久則
熊本	16457	10703	西 隆宏

認定抹消 (19 名)		認定年月日	平成 24 年 1 月 1 日
府県	認定番号	登録番号	氏名
福島	18825	13010	程塚 毅志
茨城	12214	10971	宮本 秀人
〃	17904	12161	倉持 聡
栃木	17246	12494	梅村 雅昭
群馬	18828	14064	吉松 賢二
〃	18829	14065	鰐淵 圭佑
埼玉	18830	9383	中原 博志
東京	18832	12805	西村 康之
静岡	17258	10638	土屋 貞光
〃	12221	11025	渡邊 浩信
〃	15212	11558	鈴木太生雄
静岡	12839	11900	井草 正行
〃	15219	12825	鈴木 克己
〃	18835	12826	渡邊 晴智
〃	15220	13033	川端 大輔
〃	15864	13113	中 信一路
〃	16438	13712	花木 克之
滋賀	17908	11518	渡辺 一貴
〃	17263	13872	長尾 博幸

先頭誘導選手の認定取消

(23JKA 指導第 1 号の 39 平成 24 年 1 月 6 日)

あっせん停止による認定取消 (1 名)

登録番号	選手名	府県	認定番号	認定取消日	再認定可能日
13074	島田 竜二	熊本	19128	平成 24 年 1 月 1 日	平成 25 年 1 月 1 日

自転車

仕様の追加

下記のとおり仕様を追加しました。

(23JKA 競運第 73 号 平成 24 年 1 月 16 日)

1. 登録番号及び商標
第 206 号 ばらもん
2. 製造業者住所氏名
福岡県久留米市荒木町白口 2504-4
自転車工房 ばらもん
代表 小玉 正夫
3. 登録有効期間
平成 22 年 11 月 1 日から平成 25 年 10 月 31 日まで
4. 追加事項
 - ①ホーク足 (カイセイ・エボリューション・738C)
 - ②ホーククラウン (マキノ・MCF2)
 - ③上パイプ (デダチャイ・ゼロ 1・φ 25.4 0.8/0.6/0.8)
 - ④下パイプ (デダチャイ・ゼロ 1・φ 28.6 0.8/0.5/0.8)
 - ⑤シートステー (デダチャイ ゼロ 1 太さ /14mm)
 - ⑥ホークステム (デダチャイ ゼロ 1 φ 25.4)
5. 追加日
平成 24 年 1 月 13 日

登録証記載事項の変更

下記の通り変更しました。

(23JKA 競運第 74 号 平成 24 年 1 月 20 日)

1. 登録番号及び商標
第 166 号 ケルビム
2. 製造業者
東京都町田市根岸町 381
有限会社 今野製作所
3. 登録有効期間
平成 21 年 2 月 1 日から平成 24 年 1 月 31 日まで
4. 変更事項 (代表者)
(旧) 代表取締役 今野 仁
(新) 代表取締役 今野 真一
5. 変更日
平成 24 年 1 月 18 日

ヘッドマークの変更

下記のとおりヘッドマークを変更しました。

(23JKA 競運第 75 号 平成 24 年 1 月 20 日)

1. 登録自転車

登録番号	商標	製造業者の氏名・住所	初年度登録日
第 166 号	ケルビム	有限会社 今野製作所 代表取締役 今野 真一 東京都町田市根岸町 381	昭和 45 年 2 月 10 日

2. 自転車の種類及び規格並びにその特徴
競走車安全基準に適合する自転車
3. 登録有効期間
平成 21 年 2 月 1 日から平成 24 年 1 月 31 日まで
4. 変更事項
ヘッドマーク
5. 変更日
平成 24 年 1 月 18 日
6. ヘッドマーク

新



旧



登録更新

下記のとおり本財団登録自転車の登録を更新しました。

(23JKA 競運第 76 号 平成 24 年 1 月 24 日)

1. 登録更新自転車

登録番号	商標	製造業者の氏名・住所	初年度登録日
第 166 号	ケルビム	有限会社 今野製作所 代表取締役 今野 真一 東京都町田市根岸町 381	昭和 45 年 2 月 10 日

2. 自転車の種類及び規格並びにその特徴
競走車安全基準に適合する自転車
(ラグ付きフレームのみ)
3. 登録有効期間
平成 24 年 2 月 1 日から平成 27 年 1 月 31 日まで

ケルビム



—ヘッドマーク—



あっせん

平成 24 年 1 月競輪出場あっせん状況

- 開催状況 (1 月あっせん対象節数)
 - G III 5 競輪場 5 節
(いわき平、大宮、立川、向日町、和歌山)
 - F I 22 競輪場 23 節
(いわき平、前橋、宇都宮、松戸、千葉、小田原、伊東、一宮、岐阜、大垣、松阪、奈良、岸和田、防府、玉野、高松、観音寺、松山、小倉、武雄、久留米、熊本)
 - F II 29 競輪場 39 節
- 選手あっせん依頼数 (あっせん回数に算入しない部分の依頼数を除く)
 - S 級 1,737 人
 - A 級 1・2 班 3,348 人
 - A 級 3 班 1,365 人
 - 合計 6,450 人
- 級別選手 1 人あたり平均あっせん回数
 - S 級 2.23 回
 - A 級 1・2 班 2.09 回
 - A 級 3 班 1.82 回
- あっせん選手の交流について
 実働選手に対するあっせん依頼数の比率は、S 級については関東・近畿・四国地区、A 級については南関東・中部・四国・九州地区が高かった。
 このため、あっせん回数の均等のほか、欠場時の対応等も勘案のうえ、あっせん選手の交流を行った。

平成 24 年 1 月開催出場あっせん概況表

平成 23 年 12 月 12 日

区分		級 班		
		S 級	A 級	合計
総 人 員		797	2,401	3,198
非 実 働 人 員		19	58	77
実 働 人 員		778	2,343	3,121
あっせん回数別人員	0 回	19	58	77
	1 回	0	132	132
	2 回	597	2,052	2,649
	3 回	181	159	340
あっせん総数		1,737	4,713	6,450
一人当たり平均		2.23	2.01	2.06

※あっせん本数に参入しない部分の依頼数を除く

開催状況

- G III いわき平、大宮、立川、向日町、和歌山、(5 節)
 - F I いわき平、前橋、宇都宮、松戸、千葉、小田原、伊東、一宮、岐阜、大垣、松阪、奈良、岸和田、防府、玉野、高松、観音寺、松山、小倉、武雄、久留米、熊本 (23 節)
 - F II 29 競輪場 (39 節)
- 合計 67 節

平成 24 年 1 月開催競輪選手需給状況表

平成 23 年 12 月 12 日

	S 級			A 級 1・2 班			A 級 3 班			A 級合計		
	依頼数	実働数	依頼数 実働数	依頼数	実働数	依頼数 実働数	依頼数	実働数	依頼数 実働数	依頼数	実働数	依頼数 実働数
北日本	153	81	1.89	54	198	0.27	0	85	0.00	54	283	0.19
関 東	360	151	2.38	432	324	1.33	175	172	1.02	607	496	1.22
南関東	216	128	1.69	648	247	2.62	280	104	2.69	928	351	2.64
中 部	216	103	2.10	702	149	4.71	315	67	4.70	1,017	216	4.71
近 畿	306	96	3.19	270	189	1.43	105	103	1.02	375	292	1.28
中 国	108	51	2.12	270	141	1.91	105	51	2.06	375	192	1.95
四 国	162	63	2.57	378	127	2.98	140	55	2.55	518	182	2.85
九 州	216	105	2.06	594	220	2.70	245	111	2.21	839	331	2.53
全国計	1,737	778	2.23	3,348	1,595	2.09	1,365	748	1.82	4,713	2,343	2.01
一人当たり平均あっせん回数	2.23 回			2.09 回			1.82 回			2.01 回		

備考 本表は、地区間の選手交流計画に資するため、各地区のあっせん需要数と実働選手数の対比を示したものである。なお、あっせん回数に算入されない競輪は依頼数から除いた。

平成 24 年 2 月競輪出場あっせん計画

1. 開催状況 (2 月あっせん対象節数)
 - G II 1 競輪場 1 節
(高知)
 - G III 3 競輪場 3 節
(小田原、高松、久留米)
 - F I 21 競輪場 24 節
(いわき平、宇都宮、大宮、西武園、立川、千葉、川崎、伊東、静岡、大垣、松阪、四日市、奈良、和歌山、岸和田、広島、玉野、小松島、高知、小倉、熊本)
 - F II 28 競輪場 39 節
2. 選手あっせん依頼数 (あっせん回数に算入しない部分の依頼数を除く)
 - S 級 1,692 人
 - A 級 1・2 班 3,402 人
 - A 級 3 班 1,365 人
 - 合計 6,459 人
3. 級別選手 1 人当たり平均あっせん回数
 - S 級 2.14 回
 - A 級 1・2 班 2.12 回
 - A 級 3 班 1.83 回

4. あっせん選手の交流について
 実働選手に対するあっせん依頼数の比率は、S 級については南関東・中部・四国・九州地区、A 級については南関東・中部・近畿・四国地区が高い。
 このため、あっせん回数の均等のほか、欠場時の対応等も勘案のうえ、あっせん選手の交流を行う。

登録・認定数等

平成 24 年 1 月 1 日

項目	現在数	摘 要	
登録選手数	3,173 名	S 級 798 名	A 級 2,375 名
		SS 9	A 1 813
		S 1 261 2 528	2 806 3 756
先頭誘導 選手数	2,252 名		
審判員数	763 名		
検車員数	821 名		

平成 24 年 2 月開催競輪選手需給計画表

平成 23 年 12 月 12 日

	S 級			A 級 1・2 班			A 級 3 班			A 級合計		
	依頼数	実働数	依頼数 実働数	依頼数	実働数	依頼数 実働数	依頼数	実働数	依頼数 実働数	依頼数	実働数	依頼数 実働数
北日本	54	82	0.66	108	200	0.54	35	86	0.41	143	286	0.50
関 東	216	154	1.40	594	325	1.83	245	168	1.46	839	493	1.70
南関東	315	128	2.46	594	249	2.39	245	103	2.38	839	352	2.38
中 部	270	104	2.60	702	149	4.71	280	66	4.24	982	215	4.57
近 畿	162	96	1.69	432	189	2.29	175	104	1.68	607	293	2.07
中 国	108	53	2.04	162	141	1.15	35	50	0.70	197	191	1.03
四 国	306	63	4.86	378	127	2.98	175	54	3.24	553	181	3.06
九 州	261	107	2.44	432	221	1.95	175	111	1.58	607	332	1.83
全国計	1,692	787	2.14	3,402	1,601	2.12	1,365	742	1.83	4,767	2,343	2.03
一人当たり平均 あっせん回数	2.14 回			2.12 回			1.83 回			2.03 回		

備考 本表は、地区間の選手交流計画に資するため、各地区のあっせん需要数と実働選手数の対比を示したものである。
 なお、あっせん回数に算入されない競輪は依頼数から除いた。

車券売上状況

(平成23年12月分)

競輪場名	車券売上額(円)			利用者数 (人)	開催 日数	利用者 一人平均 購買額	平成23年度累計(4月~12月)			
	合計	場外	電話投票				車券売上額	場外	利用者数	開催 日数
函館	0	0	0	0	0	0	14,803,063,900	9,020,622,100	2,127,525	58
青森	0	0	0	0	0	0	11,227,454,800	8,453,567,200	1,365,600	52
いわき平	1,443,767,200	620,695,800	694,248,100	229,467	6	6,292	6,378,850,400	3,060,025,700	977,227	30
弥彦	0	0	0	0	0	0	14,620,035,500	10,761,740,700	1,464,582	52
前橋	907,485,500	557,768,000	224,968,500	152,139	6	5,965	14,656,786,200	10,704,931,400	1,510,287	37
取手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇都宮	405,796,500	29,793,000	163,093,300	55,879	6	7,262	10,188,479,900	6,967,606,300	1,034,851	34
大宮	772,783,500	141,711,300	228,668,000	122,198	10	6,324	4,768,150,800	2,146,872,400	613,184	33
西武園	334,039,800	131,760,100	92,566,700	65,250	3	5,119	11,397,835,900	6,909,903,600	1,262,555	43
京王閣	698,115,500	234,353,500	250,110,100	126,283	6	5,528	13,633,100,800	8,335,105,700	1,664,981	37
立川	851,192,200	400,042,600	207,999,400	143,020	6	5,952	7,265,171,600	3,684,821,400	1,017,767	42
松戸	150,238,100	3,252,500	65,099,800	31,450	3	4,777	27,568,495,400	19,033,465,400	2,822,002	47
千葉	610,094,400	213,757,400	287,377,200	93,080	7	6,555	11,598,244,100	8,615,770,600	1,302,719	41
川崎	1,829,972,900	1,300,804,900	312,317,100	203,134	6	9,009	8,392,138,700	3,632,870,300	1,232,015	39
平塚	12,242,067,300	8,853,913,000	2,452,459,200	893,221	6	13,706	24,467,622,500	15,275,101,100	2,337,328	40
小田原	177,531,400	7,082,200	49,869,000	21,577	3	8,228	11,316,812,600	7,698,148,900	1,074,144	34
伊東温泉	6,587,147,200	5,296,549,400	1,058,350,000	616,371	5	10,687	10,061,268,000	6,971,759,000	1,241,392	37
静岡	601,821,300	217,345,900	144,506,300	102,606	6	5,865	9,834,773,900	5,414,467,800	1,122,917	43
一宮	536,940,500	85,129,600	197,732,400	73,457	6	7,310	10,390,337,400	6,402,495,600	1,067,558	46
名古屋	321,768,600	46,745,700	165,575,600	51,769	3	6,215	3,576,359,000	933,114,400	497,272	42
岐阜	238,705,300	25,068,500	101,075,600	39,017	3	6,118	15,729,957,400	10,839,263,500	1,422,543	37
大垣	140,237,600	7,596,200	62,034,700	30,318	6	4,626	8,905,179,000	6,185,082,900	941,076	43
豊橋	511,168,400	282,595,800	172,080,400	82,065	3	6,229	9,818,127,400	6,916,309,500	1,146,994	40
富山	55,870,300	6,526,700	24,577,300	13,521	2	4,132	11,057,692,300	7,390,258,100	1,219,603	58
松阪	372,084,700	192,080,600	130,254,100	65,002	6	5,724	11,606,138,800	8,988,928,500	1,105,841	40
四日市	1,186,418,700	411,588,100	664,097,900	181,343	6	6,542	12,394,950,600	6,975,222,400	1,516,820	43
福井	56,470,300	14,364,000	13,869,300	11,643	3	4,850	10,013,019,300	7,217,053,600	1,089,156	49
奈良	389,829,700	190,240,400	117,113,300	79,498	6	4,904	10,215,590,000	7,098,219,800	1,252,217	49
京都市向日町	376,764,800	182,968,800	117,953,600	57,525	3	6,550	4,504,354,000	2,167,332,500	602,729	45
和歌山	204,734,500	71,681,000	67,321,700	45,322	3	4,517	2,967,415,400	1,557,950,400	425,045	36
岸和田	1,076,612,800	633,665,300	221,663,000	173,922	9	6,190	21,485,467,200	15,815,052,200	2,059,222	47
玉野	74,720,000	26,189,700	18,067,700	11,428	3	6,538	4,989,668,100	3,639,414,000	614,652	42
広島	6,524,902,600	5,359,548,700	930,456,200	632,171	8	10,321	9,854,438,600	7,013,426,500	1,080,786	47
防府	92,211,100	13,594,200	44,909,600	24,561	6	3,754	11,610,296,500	8,884,173,100	1,256,198	48
高松	306,669,800	105,678,800	84,971,500	44,184	6	6,941	2,865,465,400	1,195,885,000	391,013	42
観音寺	48,212,500	5,466,700	22,403,600	11,331	3	4,255	7,745,966,200	6,209,308,900	781,224	31
小松島	77,841,500	14,658,400	26,932,100	12,789	4	6,087	5,296,378,900	4,245,859,000	571,305	22
高知	564,723,100	296,761,400	141,069,800	71,604	6	7,887	8,657,844,800	6,343,475,000	859,289	40
松山	955,391,400	359,529,800	523,253,200	152,923	5	6,248	7,748,763,600	4,088,413,400	1,022,298	38
小倉	11,453,649,600	8,680,747,300	2,274,512,100	920,502	7	12,443	19,580,025,100	11,366,963,200	2,121,610	60
久留米	1,075,970,100	382,913,900	613,986,900	171,109	6	6,288	4,456,193,100	1,849,840,800	711,187	42
武雄	78,883,100	41,738,200	20,595,900	17,120	3	4,608	10,078,333,300	7,219,065,700	1,060,540	43
佐世保	6,330,948,500	5,252,690,700	958,722,400	558,240	4	11,341	7,715,714,300	5,798,655,100	747,304	46
別府	86,093,800	12,312,900	26,783,200	12,510	3	6,882	10,839,305,100	7,941,182,500	1,094,432	49
熊本	794,243,900	385,342,700	160,712,700	118,512	9	6,702	3,076,578,100	1,260,115,400	363,756	40
合計	61,544,120,000	41,096,253,700	14,134,358,500	6,519,061	211	9,441	459,357,843,900	302,228,840,600	51,192,746	1,864

※平成23年12月分より、電話投票に重勝式と民間7賭式(チャリット・オッズパーク・Kドリームス)の数値を含む。